

③中心市街地

100年に一度のチャンスを活かし、 活気と潤いのあるまちへ。



ショッピングセンターがどんどん郊外に…。
歩いてお買い物に行けないの。



地元のお店、元気が無いみたい。
昔の活気ある商店街が良かったなあ。

バスセンターや医大などの大規模跡地、どうなるの？

内館しげる

岩手医大跡地の活用を100年に一度のチャンスととらえ、バスセンター跡地、ななつく跡地、そして、中央通り、内丸のあり方も含め、市民の皆さんとともに新しい盛岡のグランドデザインを描きます。歩いて楽しめるまち。地元商店・地元の会社が生き続けられるまち。みんながストレスなく市内を移動し、交流や買い物を楽しめるまち。そんなまちへ、チェンジします！

CHANGE

☆100年に一度のチャンスを活かした中心市街地の活性化

- 岩手医大、県立短大、バスセンターなど大規模な跡地の活用利用促進。
※岩手医大跡地は容積率を大幅に拡大し、盛岡のシンボルとして高度利用します。
- リノベーションへの補助など空き店舗の活用を推進。
- 空き地・跡地を活用したマルシェ等の常設化。

☆人口密度の高い中心市街地づくり

- 「1階店舗化、上階の住居化」への優遇措置。

☆新世代交通の検討・公共交通の充実

- 自動運転実証実験特区の実現。
- おでかけパスの拡充。
- 移動が楽な地域ミニバス、福祉タクシーなど、人に優しい公共交通を整備。
- 自転車と歩行者が共存できる安全な歩道の整備。
※LRTや新交通まちづくりについて、市民全体の議論にします。



☆交通系電子マネーカードなど、すでに機能している 地域通貨システムの活用促進と進化